



サーキュレーターを設置し、カーテン撤去

各検診車とも付属の換気扇に加え、複数のサーキュレーターを設置して換気能力を向上させ、常時空気の入れ替えを行っています。出入口は開放し、更衣室のカーテンを撤去しています。



乳房超音波検診車「すずらん5号」



「コスモス2号」

カーテン無しでも安心

女性が受診する乳がん検診車では、カーテン無しでも外から見えないように工夫をしています。車両内の床に貼られた青いテープの内側に入れば外から見えません。安心して受診していただけます。



乳がん検診車



消毒の徹底

機器の消毒

使用した、ベッドや機器は毎回アルコール消毒しています。



「3密」を避け、換気を重視

コロナで検診が変わる

早期発見、早期治療のためがん検診を受けましょう。

ちば県民保健予防財団では、安心安全な検診を行っています。

春になると、受診案内がやってくる。毎年必ず受けていた検診。「今年は受けられないのか?」「コロナが気になって人の集まる場所は行きたくない」。そんな声が聞こえてきます。マスク、手洗い、うがい、消毒、新しい生活様式がすっかり定着しましたが、やはり感染は怖い。1年くらい検診を受けなくても大丈夫!。そう考えてしまおうことはありませんか?。今や、日本人の2人に1人ががんにかかり、そのうち3分の1は亡くなります。しかし、がんは早期発見、早期治療によって90%は治るようになります。がん検診の目的は、がんを見つけたことだけでなく、検診対象の皆さまの死亡率を低下させることです。これまでの研究により、胃がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの5つのがんは、検診を受けることで、早期に発見でき、さらに治療を行うことで、死亡率が低下することが科学的に証明されています。早期に発見できればがんは決して怖い病気ではありません。検診を受けるのが遅れ、「あの時検診を受けていれば良かった。そんな後悔をしないために検診を受けましょう。」

ちば県民保健予防財団では、新型コロナウイルス感染症予防のため、密閉・密集・密接の「3密」を避け、換気を重視し、安心安全な検診を行っています。

待機中は十分な間隔を、ソーシャルディスタンス

「密集」を避けるため、入室制限をお願いしています。また、車外でお待ちいただく際にも、十分な間隔を空けてお待ちいただけます。



検診会場の対策



入室制限

受診者の皆さまへ

当財団が実施する各種健康診断においては、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を徹底しています。どうぞ安心して受診ください。

2020年度 がん征圧スローガン 9月はがん征圧月間「いつ受ける? 声かけしよう がん検診」

がんから身を守る 5つの健康習慣

本県の死亡原因第1位である「がん」。その死者数は年々増加の一途をたどり、平成28年は1万6000人を突破しています。がんの予防には生活習慣の見直しが不可欠です。禁煙や節酒など5つの健康習慣を実践することでがんのリスクはほぼ半減します。

禁煙する

たばこを吸う人は発がんリスクが約1.5倍に高まることが分かっています。また、受動喫煙でもリスクは高まります。

節酒する

多量の飲酒は大腸がん・食道がん・乳がんのリスクが高まります。日本酒1合、ビール大瓶1本程度に留めましょう。

食生活を見直す

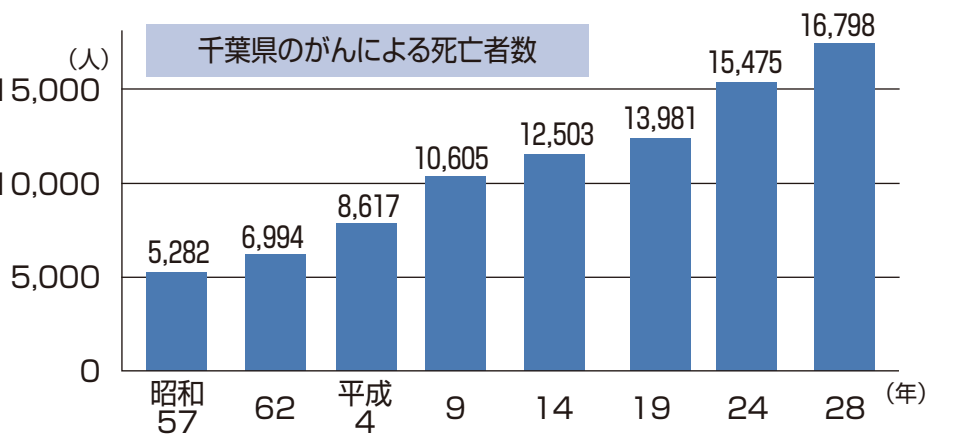
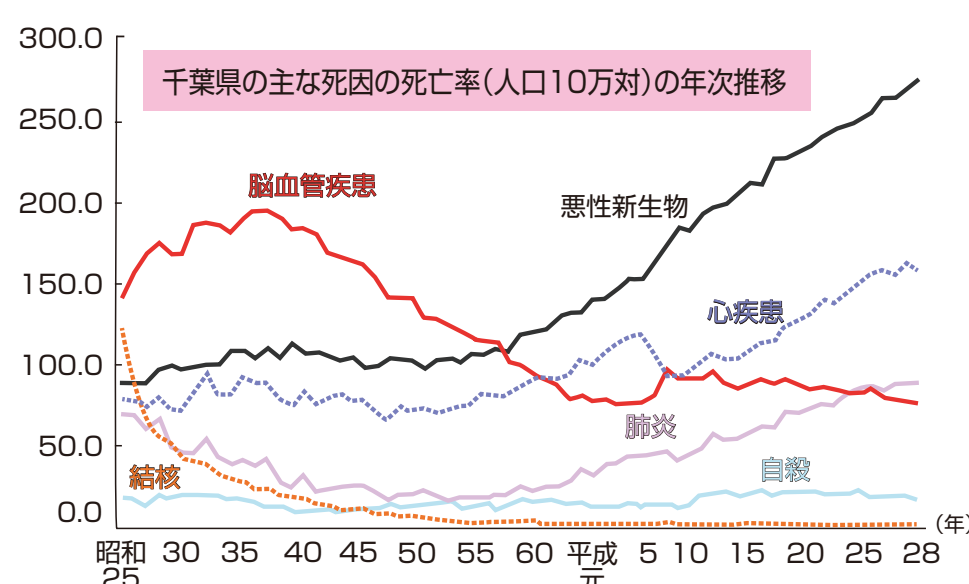
塩分を控えめにして、野菜と果物の摂取を心がけましょう。熱い飲食物は、冷ましてから口にするようにしましょう。

身体を動かす

身体活動量が高い人ほどがん全体の発生リスクが低くなるという報告があります。適度な運動を心がけましょう。

適正体重を維持する

がんを含むすべての死亡リスクは、太りすぎでも痩せすぎでも高くなります。適正体重を知り、体重管理をしましょう。



出典: ちばがんナビ(千葉県がん情報)・国立がん研究センターがん情報サービス

公益財団法人 ちば県民保健予防財団

〒261-0002
 千葉市美浜区新港32番地14
 TEL:043-246-0350(代表)
 H P: https://www.kenko-chiba.or.jp



アクセス
 <路線バスの場合>
 JR千葉駅西口25番バス停、またはJR千葉みなと駅西口バス停より「新港車庫前」行きに乗り、「ちば県民保健予防財団」下車
 <車の場合>
 駐車場140台分完備



ちば県民保健予防財団の主な事業

- 巡回健康診断 (地域保健事業、学校保健事業、産業保健事業ほか) 胸部、胃部、乳房など…検査内容に合わせた検診車を駆使し、出張による集団健診を実施。
- 総合健診センター (専門外来、人間ドック、健康診断、予防接種、セカンドオピニオン・遺伝外来) 結核、がん、生活習慣病、感染症など、専門医を中心とした迅速かつ的確な診断と、適切な診療に力を注いでいる。
- 各種検体検査等 (結核菌感染の補助診断検査、病理検査、先天性代謝異常等検査、腸内細菌検査、環境測定ほか)
- 健康診断に関する検査は特殊なものを除き、施設内で一貫して実施。
- 普及啓発・調査研究 各種イベント、セミナーなどの開催や広報誌、ちば県民保健予防基金、大学などの共同研究や委託研究、検診を活用した健康づくりモデル事業などを実施。